



www.hoseinet.or.jp (法政大学校友会 HP)

ORANGE JOURNAL 法政大学 校友会報

よき師 よき友 つどひ結べり

Published by 一般社団法人 法政大学校友会
発行人：佐々木 郁夫 (校友会会長) 編集人：坂戸 俊夫 (校友会副会長)
〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4 階
TEL : 03-3264-1831 FAX : 03-3264-4770 E-mail : jimukyoku@hoseinet.or.jp

第 15 号 (通算422号)

目次	
PICK UP CONTENTS	
新総長挨拶	P2
岩部金吾元校友連合会会長を偲んで	P3
東京2020オリパラ代表選手紹介	P5
リーダーからのメッセージ	P6
時代のトップランナーたち	P7
大活躍する「法政文士」紹介	P8

コロナ禍2年目の総会 今年も通信と文書によるハイブリッド型総会を開催 2021年度事業・予算計画書など3議案が可決承認

定時総会 第8回 開く

代表議員会議

長引くコロナ禍の影響で2021年度の定時総会も、6月26日に「三密」を回避し、経済産業省推奨の「ハイブリッド出席型バーチャル会議」にて開催した。東京・市ヶ谷キャンパスでの実出席者、意思表示書による出席者、遠隔地等からのZOOMによる出席者の三様の出席を可とした。
一般社団法人化8年目として、この1年止まっていた時計の針を進めるべく活動を開始した。

総会は三井和夫執行理事の総会司会が始まり、大学の校友会・後援会物故者への黙祷、廣瀬克哉新総長の挨拶、佐々木郁夫会長の開会の挨拶と続いた。

議事録署名人に、議長および監事全員を指名して定款により議長に佐々木会長を選任し、林事務局長が出席状況を報告、過半数の成立要件を満たし、総会の成立を宣言した。

第1号議案
「2020年度事業報告書(案)及び決算報告(案)」に関する件

第2号議案
「2021年度事業・予算計画書(案)」に関する件

第3号議案
「理事選任」の件

全議案可決承認される
第1号議案「2020年度

法政大学校友会 会長挨拶



佐々木 郁夫

法政大学校友会は「一般社団法人」に移行後8年が経過し、国内パートナー組織81・海外拠点17を展開する日本私学を代表する重厚な卒業生組織へと発展を続けております。会員各位の日頃のご支援に心より感謝を申し上げます。

また昨秋には、母校出身の菅義偉内閣総理大臣が誕生し、卒業生として誇りを感じると共に大きな勇気を戴いたところであります。そこで、コロナ禍の中奮闘される菅総理に同窓生として大きなエールをお届けすべく「応援旗」の贈呈を企画いたしましたところ、1343名もの多くの方々にご賛同を戴き立派な「応援旗」をお贈りする事が出来ました。

菅総理からも返礼の色紙を戴き、皆様に記念としてこの結果、従来のPCに

加えお手持ちの「スマホ」の「タブレット」からも校友会のホームページにアクセス出来る仕組みが完成致しました。

そして、この仕組みを活用し、法政卒業生が皆々全国の飲食・宿泊・サービス事業者を応援できる「法政オレンジMAP」(お店の場所・特徴をスマホに表示)の展開を開始致しました(詳細は3頁にご紹介しています)。

ワクチンの広がりと共に再開される社会活動に向け、皆様のお知り合いの紹介・登録による全店オレンジネットワーク創

りにご協力を戴きたくお願いを申し上げます。

法政大学校友会は、こう春のふる里を同じくする仲間として様々な形で繋がり、相互に励ましあいながら、校友会憲章にも謳われている「社会への価値提供」に取り組んで参りたいと存じます。

「私立大学ブランドは卒業生が創る」との言葉が有ります。伝統ある東京六大学の卒業生として、2021年度も誇りを胸に皆様と共に進んで参りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いを申し上げます。

「応援旗」を通じて 全国の校友が繋がる

6月23日(水)、総理大臣官邸において、菅義偉内閣総理大臣に、佐々木郁夫校友会会長から全国の校友有志の熱く、力強いメッセージを込めた「応援旗」と名簿を謹呈いたしました。

法政大学の長い歴史の中で、母校卒業生として初めて内閣総理大臣にご就任された菅義偉総理に対して、校友から「応援旗」を謹呈させたことを企画し募ったところ、全国1343名の校友有志から賛同をいただくことができました。

ご賛同いただいた皆様には、「謹呈した応援旗のレプリカ」と総理から頂戴いたしました「校友に向けた色紙のレプリカ」をフォルダーにセットし、返礼品として送付させていただきました。

本企画を通じて、全国の校友がより一層強く繋がることができました。

菅義偉内閣総理大臣には、これからも国民のために活躍いただけることを心から願っております。

そしてまた、コロナ禍を気にせず校友の皆様が集まれる日が一日も早く訪れることを願ってやみません。



度事業報告書及び決算報告書(案)につき、飯塚監事から監査報告がなされ、事業報告については、三井執行理事から報告された。同決算は小林清宣執行理事より、資料に沿って報告された。

報告の後、質疑応答に移り、「新型コロナウイルス奨学基金の使われ方の質問があり、小林執行理事から説明した。

その後、採決に移り、第1号議案は提案通り可決承認された。

第2号議案の「2021年度事業・予算計画書(案)」について三井執行理事が説明した。さらに、21年度の予算計画について、小林執行理事がポイントを要点をいつつ説明した。

議案に関連して「21年度奨学基金の支援を拡充すべきではないか」との質問があり、竹中宜雄執行理事から「大学との連携のもと、一般社団法人法政大学校友会奨学金、②陸上競技部東京箱根間往復大学駅伝寄付金、③法政大学SGU募金(広報誌法政を利用した募金)、を継続しつつ、加えて今年から大学の教育プ



ハイブリッド総会の模様

ログラム「地方共創プログラム基金」も立ち上げたい旨の回答があった。

質疑応答の後、採決に移り、第2号議案も提案通り可決承認された。

第3号議案は坂戸俊夫中央選挙管理委員会委員長から、「2020年10月15日に逝去された中部ブロック杉本仁至中部ブロック理事の後任として愛知県校友会の因田義男氏を理事候補次点者届けに基づき推薦する」提案がなされ、可決承認された。

なお、理事の任期は、前理事の残任期間で、第9回定時総会終了時までと報告された。提案された全議案は、賛成多数で可決承認された。

最後に、映像で「ドローンによる3キャンパス紹介」法政大学校友会デジタル化推進施策」について報告があり、2回目の変則開催の総会も無事終了した。

(文：勝又秀雄 写真：大桃信義)

2021年度一般社団法人 法政大学校友会事業計画(案)

2021年6月26日

I 2021年度基本方針

昨年度はコロナ禍での一年であり、集合型の活動が困難な中、オンラインを活用した全ての世代が繋がるネットワークづくりの構築で一定の成果を出すことができた。今年度は、「ウィズコロナ」時代が続く中で、校友会の3大イベントをはじめ、各パートナー組織での集合型の活動も再開できる兆しとなってきた。まずは、ご参加いただける大学関係者、校友の皆様のご健康と安全を考え、安心して参加できる体制づくりを第一としたい。また、青年オレンジ部会の活動を通じて、青年層校友の参加も増えている。今年度は参加人数の少ない女性層への働きかけも行っていく。

昨年度下期から着手したデジタル化推進事業を進める中で、WEBで繋がるネットワークの構築、全国の校友を応援する法政オレンジMAPの展開は、引き続き、柱の事業のひとつとして進める。

一般社団法人移行7年を経て、パートナー組織81団体、海外団体13ヶ国17拠点と、組織整備に一定の成果も出た。「法政大学校友会憲章」を根幹に置いたうえで、全国のパートナー組織と共に校友会活動の質的向上を実現する体制を整備する。

II 主要施策

既存施策の継続を基本とし、その中で主要施策を定め、運営を行うこととする。

1. 全ての世代が繋がるネットワーク拡充

(1) 会員拡大への再取組み

これまで、既卒者終身会員を毎年約600名増加させるとの目的のもと取組みを行ってきたが、近年約200名前後の増加に留まり、このままでは財政運営が悪化する恐れがある。“全ての世代が繋がる”校友会の世代交代に備えるためにも喫緊の課題であり、約600名の終身会員増加の実現に向けた取組みを実施する。

とりわけ強化が必要であった青年層の拡大において、青年オレンジ部会の活動は、予想を上回る成果が現れてきており、この取組みを継続して行う。

- ①既卒：3大イベントや各パートナー組織での活動、行事を通じて終身会員増加を目指す。引き続き、卒業50年の卒業生に向けた取組みは継続する。
- ②壮年：全ての世代が繋がるネットワーク構築に向けた最重要課題であり、仕事で活用できる機会の提供、情報交換会の設営、在学生への就職活動面でのサポート活動を通じて、終身会員の増加を目指す。
- ③青年：2019年10月に発足した「法政オレンジコミュニティ」を軸に、これまでの取組みを継続し、主に20・30代の卒業生を対象としたイベントを開催し、校友会の認知を図るとともに、参加率向上および終身会員の増加を目指す。特に、年度同期会員については、校友会への参加意識、ニーズを探りながら、各パートナー組織への所属変更を進めていく。
- ④女性層に向けた定期的な情報発信を行い、校友会の認知を図るとともに、参加を働きかけていく。

(2) パートナー組織の拡大とブロック体制の強化

校友会の持続的な発展の実現に向けて、地域組織・学部組織・スポーツ組織等のパートナー組織の拡充は極めて重要である。また、制度発足4年目を迎えるブロック体制は「パートナー組織の自主的な活動の促進」に一役を担っている。

- ①CCS(キャリア支援、カルチャー活動、スポーツ交流)企画事業の充実、マニュアルの整備、全国の事例共有
 - ②ブロック体制の定着と運営体制の確立
 - ③パートナー組織の更なる拡充の実現
- #### (3) デジタル化推進事業とWEB環境を活用した連携、連絡体制の強化
- ①ホームページ機能強化、WEB決済機能追加、電子会員証発行の実装及び運用保守
 - ②パートナー組織との情報共有方法の多様化のための仕組みや連絡手段の検討・構築
 - ③他システム連携構想の検討・策定

2. 「価値創造」イベント・企画の推進

校友会における大きな価値の一つとしてネットワークが挙げられるが、世代・地域・職業等により価値やネットワークの在り方は多様である。イベント等を通じて、校友にとっての価値を様々な形で提供していく。

- ①様々な世代が繋がる機会となる取組み
- ②パートナー組織における地域・職業等のニーズに合わせた取組み
- ③オール法政を目指し、大学・後援会・校友会の三者で連携した取組み
- ④全国の校友を応援する法政オレンジMAPの展開等
- ⑤社会・未来貢献テーマの選定と全国での取組みの検討(SDGs他)

3. 大学・学生支援活動の充実

校友会における大学・学生への財政面での支援は重要な事業の一つである。奨学金をはじめとした寄付については、2020年度に引き続いて行うこととする。また、将来的な継続性も考慮し、寄付金委員会主導のもと各校友等からの寄付の土壌の確立や収益事業の検討を行う。

- ①一般社団法人法政大学校友会奨学金、SGU基金をはじめ、既存の支援活動の継続
- ②株式会社エイチ・ユーと連携した収益事業の継続
- ③ブロックまたはパートナー組織との連携事業の検討
- ④キャリアセンターからの要請に基づく就職支援活動の継続

4. 本部運営の強化

校友会の持続的な発展の実現のため、パートナー組織との連携、また大学・後援会との連携は必要不可欠であり、そのためには本部運営の強化が重要となる。

- 本部運営に関わる諸取組みを実施する。
- ①会員情報管理の整備と盤石なネットワーク体制の構築
- ②オンライン・オフラインによる情報発信・伝達の充実
- ③部会の在り方の検討
- ④事務局体制の強化・見直し、業務負荷軽減を目指したシステム活用の検討

校友会報挨拶

法政大学総長 廣瀬克哉



2021年4月に第20代法政大学総長に就任しました。廣瀬克哉(ひろせかつや)です。1987年に法学部助教授として着任し、34年間法政大学の教員をつとめてきました。作家の吉田修

一さんが法政大学に入学されたのも同じ1987年。後にその作品『横道世之介』で描かれた大学の姿は、私の記憶の中にある当時の法政大学そのものです。専門は行政学です。行政

のもつ専門性によって政策の質を確保すること、一般の人の意思で政府をコントロールするという民主性を、どのように両立させていくべきなのかというテーマを、いろいろな政策分野で扱ってきました。その一つである自治体議会には、多い年には50回以上地方出張をしていました。かつて法政大学で学ばれた校友のみなさんが、全国各地でその地に欠かすことのできない存在として貢献されているらっしゃる姿に、もっとも幅広く接する機会を得てき

たタイプの教員であると思えます。2014年の田中前総長の着任と同時に常務理事に就任し、2期7年間で法政大学の運営に携わってきました。長期ビジョンH O S E I 2 0 3 0 の策定、その実現のためのアクションプランと中期経営計画、そして法政大学をよりグローバルな大学とするためのスーパーグローバル大学創成支援事業(10か年事業)などには当初から携わり、これらは現在も進行中です。当面は、新型コロナウイルス

ウィルス感染症の影響にどう対応していくかが問われています。在学生たちには、厳しい条件下での学生生活となつていますが、卒業生の皆様からも寄付などの形で協力をいただいたことにより、学生たちに一定の支援を届けることができました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。今回の状況を乗り越えた段階では、法政大学ではどんな状況になつても、手応えのある教育を受けることができ、厳しい経験も自分の力に変えていける場である

と、社会からも一目置かれるようになっていくことが目標です。そのために学生教職員みんなの「実践知」を磨いていきたいと考えています。今年付属中学に入学した1年生は、2030年に大学4年生になる学年です。すでにH O S E I 2 0 3 0 の主人公は、学内にいるという時期になってきました。自由で柔軟な発想力と、現場で課題解決を担うという実践力を備えた卒業生を多数送り出していく大学として、総力をあげて取り組

「法政大学校友会憲章」

私達は、法政大学卒業生として自由を基本に自主性と多様性を守り持続可能な社会を実現するために「価値」を創造します

行動指針

- 1. 私達は、人を大切にし、世界で活躍する卒業生と母校が社会・世界・人類の平和と発展に貢献するために価値を創造します。
- 2. 私達は、ライフステージに応じて自由に参加し、価値の創生・共創を進めます。
- 3. 私達は、全員が価値を提供して自己実現を行い、体験を通して自己足跡を残すことを支援します。
- 4. 私達は、自主性と多様性を尊重し、大学・後援会・校友会が三位一体となり、オール法政のネットワークを強固なものとしめます。
- 5. 私達は、倫理と社会責任を自覚し、校友会の絆をさらに強めます。
- 6. 私達は、情報の価値を認識し、適正に管理発信し且つ保護します。

運営体制 ブロック担当体制

北海道ブロック 石塚理事	北東北ブロック 小林理事	南東北ブロック 小林理事	北信ブロック 石塚理事
関越ブロック 小林理事	北関東ブロック 竹中理事	中部ブロック 田崎理事	近畿ブロック 田崎理事
中国ブロック 三井理事	四国ブロック 三井理事	学部同窓会ブロック 石渡理事	職域第1ブロック 佐々木会長
職域第2ブロック 佐々木会長	東京ブロック 坂戸・竹中理事	南九州ブロック 坂戸理事	海外支部 佐々木会長
	北九州ブロック 坂戸理事	スポーツ第1ブロック 大森理事	
	土業の会 石渡理事	スポーツ第2ブロック 大森理事	
	教職員ブロック 小林理事	スポーツ第3ブロック 大森理事	

元校友連合会会長 岩部金吾氏を偲んで



岩部金吾(いわべ きんご)氏の略歴

1932年2月26日、広島県に生まれる。
 1956年 法政大学経済学部卒業
 同年 ハリウッド化粧品入社
 1959年 文化シャッター入社
 1969年 同社常務取締役
 1972年 同社専務取締役
 1989年 同社代表取締役社長
 1995年 同社取締役相談役
 1997年 同社代表取締役会長
 2016年 同社取締役相談役
 2018年 同社特別顧問
 (主な公職)
 一般社団法人日本シャッター・ドア協会会長
 (校友会の役職)
 2005年~2012年 校友連合会会長

本年3月7日、89歳で逝去された岩部様は同窓会と校友会に多大な貢献をされました。
 岩部様と法政大学卒業生組織のかかわりは1998年6月の経済学部同窓会会長就任から始まり、2012年2月まで校友会の会長退任まで14年間、各組織の会長または副会長として貢献してくださいました。当初は、各学部の同窓会がそれぞれ存在し、校友会と同窓会という卒業生組織が二重にあり、卒業生にとっては「どの組織に入ればよいのか」という質問が多数寄せられました。また、組織力が分散し母校への強力な支援とはなりえず、卒業生の一体感を強めることがなかなかできませんでした。そして、岩部様をはじめ、

多くの方の協議で2001年に校友連合会を発足させ、卒業生組織の一体化を進めてくださいました。協議中は各組織の事情があり、議論がかみ合わないことが多々ありましたが、岩部様の「小異を捨てて大同に就こう」という言葉で話し合いが進み、実現しました。

また、校友の一体化推進のため、各種イベントの企画、推進にも寄与してくださいました。2001年11月の「第1回オール法政ゴルフ大会」の開催。また「オール法政新年を祝う会」は年々参加者が増え、いまや千人を超える参加者が集う催しとなり、現在の校友会の3大イベントの礎と盛大さをかたち造ってくださいました。
 校友会の財政健全化のため、

追悼文・潮崎敏彦氏
 前法政大学理事
 文化シャッター(株)会長



法政大学卒業生組織に数々の功績を残してください、それを引き継ぐ我々卒業生が、法政大学のブランド力をさらに高めることが、岩部様の功績に報いることだと考えています。
 ご冥福をお祈り申し上げます。

情報・青年オレンジ部会の取組み

急加速するデジタル改革 ~校友会DX~

2020年度、未曾有のコロナ禍において校友会活動に多くの制約が課せられました。その中でも校友会活動を前進させ、法政ネットワークをより強固なものとするため、情報部会・青年オレンジ部会が連携し、校友会におけるデジタル改革を敢行しました。その内容をご紹介します。
 (情報部会・青年オレンジ部会長 半田朋之)

20~30代の卒業生が集う「法政オレンジコミュニティ(HOC)」では、コロナ禍において引き続きオンラインイベントを実施しています。その内容を一部ご紹介します。

- ・1月31日「オール法政新年を祝う会(オンライン版)」の配信
 - ・2月26日「ステイホーム交流会」の実施
 - ・4月15日「クレジットカードセミナー」の実施
 - ・4月27日「バーチャルツアーin大分県杵築市・島根県松江市」の実施
- 今後も様々なイベントを実施しますので、皆様のご参加をお待ちしています!

内容1 校友会ホームページのリニューアル

校友会のホームページを全面リニューアルしました。校友会には20~90代と幅広い世代の卒業生がいますが、すべての世代にとって見やすく、情報収集しやすいホームページとなっています。スマートフォンやタブレットでも見やすく表示できるよう対応しています。



- 【発信しているコンテンツ】
- 校友会の紹介・お知らせ
 - 三大イベントをはじめとした各種事業・サービスにおける取組み
 - パートナー組織の紹介・お知らせ
 - 校友会報「Orange Journal」
※バックナンバーも公開しています
 - 20~30代の卒業生のための「法政オレンジコミュニティ」の紹介・イベント情報
 - 様々なフィールドで活躍する卒業生紹介
 - 卒業生が経営するお店情報「法政オレンジMAP」



URL: <https://hoseinet.or.jp/>
 ※これまで法政オレンジコミュニティのホームページは、校友会ホームページと別管理していましたが、今回のリニューアルを機に、一元化しています。

多彩な情報を定期的に発信していますので、是非ホームページに遊びに来てください!

内容2 公式アプリ(電子会員証)の導入

校友会ホームページをリニューアルすることで、以前と比べ情報収集をしやすくなりましたが、それに加え、校友会の公式アプリをリリースしました! 公式アプリの特徴的な機能は下記の2つとなります。



①電子会員証の導入
 校友会の終身会員となった卒業生には、会員コードをお渡ししています。これまではプラスチック製のカードをお渡ししていましたが、時には持ち歩きのを忘れてしまったということもあったのではないのでしょうか。公式アプリをリリースしたことで、アプリ上で会員カードを表示させることができるようになりました。
 ※電子会員証については、2021年9月頃より実装予定

②校友会からの情報発信とプッシュ通知
 ホームページと同様の情報が、公式アプリでご覧いただけます。スマートフォンで見たときに最適な形で発信しています。デジタル版の会報、動画配信、SNS連携等も行っています。さらに、卒業生の属性(出身学部、地域等)により、それぞれのニーズにあった情報をお届けしプッシュ通知が届くような仕組みになっています。



これらの機能が搭載された公式アプリ、是非ダウンロードしてみてください!
 上記は、いずれも2021年4月より運用開始しております。

※DX…Digital transformationの略。2004年にスウェーデンのウメオ大学教授エリック・ストルターマンが提唱したもので、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念である。

SERIES

校友会紹介

横須賀法友会

横須賀法友会が設立される！ 拡大成長する法政大学校友会

諸先輩のみなさま。令和3年5月29日、横須賀市産業交流プラザにて設立総会を開催し、神奈川県校友会の8番目の支部として横須賀地域の横須賀法友会を設立いたしました。ようしくお願ひします。

設立総会は、校友会本部から石塚副会長、神奈川県校友会から小針会長ほか県内支部の会長のご臨席を賜り、会員とあわせ40名が参

わりに応援用の法政グッズをお配りし、スポーツ応援出来る日が来ることを願って式を終りました。

そもそも横須賀法友会は、顧問に就任いただいた齋藤さんからの呼びかけでした。令和2年の初夏、突然に「色々なOBを探した

OBも分かりません。市役所、商工会議所、地元信用金庫、鉄道事業者、観光協会などにお声がけし勧誘していただきました。また、会則作成などの組織作りには県内の支部の皆様からご指導いただきました。特に

横浜支部の犬飼事務局長には会則の添削を始め、本部への登録書類など幾度となくメールのやり取りをお許しいただき、設立に漕ぎつけたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

横須賀法友会は船出したばかりです。まだお声がけ出来ていないOBの方も多くいらっしゃいます。これから勧誘を続け、法政大学OB同士、地域で懇親を深めてまいります。

諸先輩の皆様には、お仲間に入れていただけるよう、改めてようしくお願ひいたします。

(副会長 秋本文仁)



設立総会の模様

PARTNER NEWS

地域・卒業生団体
学部・付属校同窓会

パートナー

だより

文学部同窓会

「勝海舟記念館」と 「九品仏浄真寺」を 訪れる



勝海舟記念館前で

文学部同窓会では、「特別企画」として春と秋に都内・近郊散策を行っており、勝海舟記念館には本会の清原孟会長（本学名誉教授）を初め11名が集まり、幕末の多難な時期に幕府と薩長との内戦回避に尽力して欧米列強の干渉を防いだ海舟の偉大な業績を偲び、次いで記念館に隣接した風光明媚な洗足池畔にあ

昨年11月7日には大田区の「勝海舟記念館」、今年5月22日には世田谷区の「九品仏（くほんぶつ）浄真寺」を訪れました。

勝海舟記念館には本会の（極楽住生の際の九つ階層）に見合う九つの仏像（阿彌陀仏）が三体ずつ安置されている三つのお堂のうち、改修中のお堂を除く二つのお堂を拝観しました。この地は、中世、足利氏の一族の吉良氏系の奥沢城だった所で、土塁の跡なども残っていました。

そのような中、卒業式、入学式ともに今年は武道館で挙行されましたが、双方とも基本的に本人のみの出席で行われました。例年であれば卒業式後、同窓会資料が私どもの手で配布される運びなのですが、今年も昨年同様、学位記は郵送となりました。

これは受け同窓会事務局（広報部会長 嶋宗）



100周年記念誌の封入作業風景

経済学部同窓会

『経済学部創設100周年記念誌』及び同窓会資料を卒業生、新入生に配布

法政大学村

法政大学村が改築・寄贈した「北軽井沢駅」の話



駅舎正面の欄間には法政の「H」の文字が

校友会事務局に、軽井沢高原ゴルフ倶楽部の支配人の小岩井康之氏（1984年3月法学部卒、法政財界人倶楽部代表議員）から、法政大学にゆかりのある「北軽井沢駅」（現在は廃駅）の写真を送っていただきました。

「国道146号線の北軽井沢交差点から「大学村」に向かって東に折れてすぐ、旧道に沿って左折すると、北軽井沢商店街の中心である旧北軽井沢駅前広場に出現する。その一角に、赤茶色の寺院風の屋根が目を引き、旧北軽井沢駅舎が残されています。

北軽井沢駅はもともと、軽井沢・草津間を運行する草軽電気鉄道の地蔵川停留所でしたが、1929（昭和4）年、法政大学が駅舎を新築して草軽電鉄に寄附し、北軽井沢駅と改称しました。

駅舎は木造トタン葺き、正面玄関は和洋折衷のモダンなつくりで、欄間（らんま）には法政大学のイニシャル「H」がデザインされています。

法政大学村の初代村会議長・野上豊一郎教授（後の学長・総長）夫人で作家の野上弥生子氏は、「駅の建物も、はじめの藁小屋とは思いつかぬ当時としては思い切った立派なものを作ったのです。（中略）あの欄間を見て下さい。あの白い格子は、よく見ると法政の頭文字のHを連ねたもので、これも大学村の歴史を証明するものといえましょう」（『大学村五十年誌』所収「草分けの頃・戦中・戦後」より）と記しています。

1962（昭和37）年に草軽電鉄が廃線となってからは、草軽交通の事務所のほか、本学OBが喫茶店に利用していましたが、2005（平成17）年に長野原町が敷地・建物を譲り受け、保存修理を行いました。この建物は草軽電鉄の駅舎で唯一残っているもので、国の登録有形文化財（建造物）に指定された際に、大学村組合より法政大学へ情報提供がありました。

ところで、「大学村」の北側にある照月湖と湖畔のホテルも、「法政大学村」ゆかりの場所です。

北軽井沢駅が完成した年、法政大学村は村民の社交と憩いの場とするため、大学村倶楽部（くらぶ）を建設します。建坪354坪の建物は、法政大学校舎の古材を利用したといわれ、食堂、大浴槽、談話室、娯楽室があり、岩波家寄贈の岩波文庫を並べた書棚もありました。



駅舎の説明看板

駅舎は木造トタン葺き、正面玄関は和洋折衷のモダンなつくりで、欄間（らんま）には法政大学のイニシャル「H」がデザインされています。

法政大学村の初代村会議長・野上豊一郎教授（後の学長・総長）夫人で作家の野上弥生子氏は、「駅の建物も、はじめの藁小屋とは思いつかぬ当時としては思い切った立派なものを作ったのです。（中略）あの欄間を見て下さい。あの白い格子は、よく見ると法政の頭文字のHを連ねたもので、これも大学村の歴史を証明するものといえましょう」（『大学村五十年誌』所収「草分けの頃・戦中・戦後」より）と記しています。

1962（昭和37）年に草軽電鉄が廃線となってからは、草軽交通の事務所のほか、本学OBが喫茶店に利用していましたが、2005（平成17）年に長野原町が敷地・建物を譲り受け、保存修理を行いました。この建物は草軽電鉄の駅舎で唯一残っているもので、国の登録有形文化財（建造物）に指定された際に、大学村組合より法政大学へ情報提供がありました。

ところで、「大学村」の北側にある照月湖と湖畔のホテルも、「法政大学村」ゆかりの場所です。

北軽井沢駅が完成した年、法政大学村は村民の社交と憩いの場とするため、大学村倶楽部（くらぶ）を建設します。建坪354坪の建物は、法政大学校舎の古材を利用したといわれ、食堂、大浴槽、談話室、娯楽室があり、岩波家寄贈の岩波文庫を並べた書棚もありました。

翌1930（昭和5）年、村内にそそぐ溪流をせき止めて人造池を作る計画が実現に移されました。翌年完成した約1万坪の「沢池」が、現在の照月湖です。池畔の自然破壊と観光地化を恐れ、小さな池の造成にとどめたところに、法政大学村の理念がうかがわれます。

本の散歩道

ウズベキスタン「ナボイ劇場」建設の真実
続・シルクロードの〈青の都〉に暮らす

本書は「日本の人々にウズベキスタンをもっと知ってほしい!」という日本の大学院に進学した私の教え子たちの切実な願いを実現するために執筆しました。歴史と街と人々の暮らし、文化と教育・スポーツまで、不思議な魅力を紹介。「ナボイ劇場」建設まつわる「日本人伝説」の真実にも迫りました。

胡口 靖夫 著
1963年経済学部卒業

ウズベキスタン「ナボイ劇場」建設の真実
続・シルクロードの〈青の都〉に暮らす

本書は「日本の人々にウズベキスタンをもっと知ってほしい!」という日本の大学院に進学した私の教え子たちの切実な願いを実現するために執筆しました。歴史と街と人々の暮らし、文化と教育・スポーツまで、不思議な魅力を紹介。「ナボイ劇場」建設まつわる「日本人伝説」の真実にも迫りました。

胡口 靖夫 著
1963年経済学部卒業

雪国を江戸で読む
近世出版文化と「北越雪譜」

本書は江戸後期の雪の随筆として名高い『北越雪譜』を、地方と中央の文化的交渉、そして出版文化の成長とトレンドの変遷が生み出した歴史的な事物として捉え、その出版に至る経緯を明らかにし、盛り込まれた雪国情報、読者を引き込む仕掛けを分析する。近世の出版文化を背景に、越後文人鈴木牧之と人気作家山東京伝・京山、曲亭馬琴等の交流・野心・確執が描かれる。『日経新聞』『新潟日報』等にも書評掲載。

森山 武 著
1984年文学部卒業
マードック大学教授（オーストラリア）

雪国を江戸で読む
近世出版文化と「北越雪譜」

本書は江戸後期の雪の随筆として名高い『北越雪譜』を、地方と中央の文化的交渉、そして出版文化の成長とトレンドの変遷が生み出した歴史的な事物として捉え、その出版に至る経緯を明らかにし、盛り込まれた雪国情報、読者を引き込む仕掛けを分析する。近世の出版文化を背景に、越後文人鈴木牧之と人気作家山東京伝・京山、曲亭馬琴等の交流・野心・確執が描かれる。『日経新聞』『新潟日報』等にも書評掲載。

森山 武 著
1984年文学部卒業
マードック大学教授（オーストラリア）

特別なオリンピック 東京2020で目指せ頂点! 起こせ法政旋風!!

コロナ禍で混迷を極めている東京五輪だが、法政大学の卒業生、現役生が各種目で代表に選ばれ活躍が期待される。法政出身のトップアスリートたちにエールを送るとともにここに紹介する。



アーティスティック
スイミング
柳澤選手(写真提供:本人)



フェンシング 見延選手
(写真提供:本人)



フェンシング 吉田選手
(写真提供:本人)



フェンシング 福島選手
(写真提供:本人)



フェンシング 左 西藤選手 右 敷根選手
(写真提供:スポーツ法政新聞会)



ボクシング 森脇選手
(写真提供:スポーツ法政新聞会)

オリンピック出場選手

フェンシング

見延 和靖選手(男子エペ・2010年度法学部卒)
19年グランプリ 個人金メダル
19年ワールドカップ 団体金メダル

吉田 健人選手(男子サーブル・2011年度法学部卒)
19年アジア選手権 団体銅メダル
19年世界選手権
オリンピック2連覇の選手を破りベスト16

西藤 俊哉選手(男子フルーレ・2020年度法学部卒)
17年全日本選手権 優勝
17年ユニバーシアード 団体金メダル
19年アジア選手権 個人銅メダル

敷根 崇裕選手(男子フルーレ・2020年度法学部卒)
19年アジア選手権 個人金メダル
19年アジア選手権 団体金メダル

福島 史帆実選手(女子サーブル・2017年度法学部卒)
17年ユニバーシアード 個人ベスト16
17年ユニバーシアード 団体金メダル

青木 雄介氏(フェンシング日本代表監督)

重量挙げ

**三宅 宏実選手
(女子49kg級・2008年度キャリアデザイン学部卒)**
12年ロンドンオリンピック 48kg級銀メダル
16年リオデジャネイロオリンピック 48kg級銅メダル

ボクシング

森脇 唯人選手(ミドル級・法学部在学)
18年プレミア大会 金メダル
18年ロシア国際トーナメント 3位
19年全日本選手権 優勝

水泳

柳澤 明希選手(アーティスティックスイミング・2020年度スポーツ健康学部卒)
19年ワールドシリーズ2019日本 チーム1位
19年ワールドシリーズ2019アメリカ チーム1位
19年第一八回世界水泳世界選手権退会 チーム4位

坂本 要氏(水泳日本代表選手団団長)

ボッチャ

江崎 駿選手(経済学部在学)
18年日本選手権大会 優勝
19年日本選手権大会 優勝

陸上競技

金井 大旺選手(110mH・2017年度スポーツ健康学部卒)
20年第2回 Athlete Night Games in FUKUI 優勝
20年日本陸上選手権大会 優勝
21年織田幹雄記念国際陸上競技大会 優勝(日本新記録)

豊田 将樹選手(400mH・2019年度スポーツ健康学部卒)
19年ユニバーシアード競技大会 400mH 4位
19年日本インカレ 400mH 優勝

黒川 和樹選手(400mH・現代福祉学部在学)
20年日本学生陸上競技対校選手権大会 2位
21年インターコンチネンタル・ゴールド 優勝

青木 涼真選手(3000mSC・2020年度生命科学部卒)
18年箱根駅伝5区 1位(区間新 9人抜き)
20年日本選手権3000SC 3位

坂東 悠汰選手(5000m・2018年度スポーツ健康学部卒)
18年クロスカントリー世界選手権 日本代表
20年日本選手権5000m 優勝

サッカー

上田 綺世選手(2020年度スポーツ健康学部卒)
19年コパ・アメリカ2019日本代表
20年AFC U-23日本代表
国際Aマッチ6試合出場

野球

稲葉 篤紀氏(日本代表監督)

トライアスロン

高橋 侑子選手(2014年度スポーツ健康学部卒)
18年ジャカルタ・アジア大会個人 優勝
18年ジャカルタ・アジア大会混合リレー 優勝

3x3バスケットボール

落合 知也選手(2009年度法学部卒)
14年第2回3x3世界選手権大会出場
14年3x3ワールドツアーマスターズ北京大会 3位
21年7月4日現在

SERIES 卒業生パートナー紹介

法政大学自主マスコミ講座 OBOG会

30年以上にわたって 学生の夢の実現を支援

2020年6月21日、法政大学自主マスコミ講座 OBOG会が校友会パートナー組織として正式に承認されました。

自主マスコミ講座(以下、「自主マス」という)は、1988年にマスコミ就職を希望する学生の夢の実現をサポートすべく、マスコミ業界で活躍する本学卒業生の協力を得て、若手教職員が自主的に立ち上げた講座で、現在まで30年以上にわたって続いています。

この間、自主マスは就職活動を取り巻く社会状況の変化に応じて、コース編成

や募集学年などの見直しを柔軟に行い、現在は3年生対象のアナウンサー、報道・ジャーナリスト、出版・エディター、放送・エンタメ、広告・マーケティング、2年生は活字系、表現系、1年生は基礎というコース編成で、授業期間中の毎週土曜日に市ヶ谷キャンパスで実施しています。中学生から自主マスを知って、法政大学を志望し、キー局アナになった人もいます。

発足以来、30年以上にわたるマスコミ内定の実績と

法政大学自主マスコミ講座20周年記念OB会



20周年OBOG会に参加した草創期のメンバーたち

それによって得た各種データの蓄積と効果的な活用、そして愛校心に溢れる OBOG会員による熱心な

これまでに、東京をはじめとする全国の放送局や新聞社、出版社、広告会社などに1500人近い卒業生

学生指導が自主マスの最大の強みです。さらに、同じ学年の中でも試験データは全員で共有し、本来「個人戦」である就職活動を、自主マスは「団体戦」として戦うことによって、内定獲得を目指します。

今後 OBOG 会の会員数を増やしていきたいという夢を持って法政大学に入学してきた学生を、支援していきます。

(代表幹事 小林孝)

ESSAY

校友随想



中 正美
75歳 社会学部
応用経済学科
埼玉教員養成セミナー
専任講師

埼玉の教育を担う教員の育成

埼玉県では、県内連携大 社会性を養うことを目指している。

埼玉県では、県内連携大 社会性を養うことを目指している。50名の学生を選抜し、本セミナーにて資質・能力の育てこの職に就いた。今年で成を収めている。期間は18年目。選抜された学生の端にも直接触れることができることも、また楽しい日々である。



川崎 雅代
86歳 経済学部
経済学科卒
株式会社しむら
代表取締役

人生七転び八起きピンチの後にチャンス

舞台上立ち人を笑顔にしよう。当時借金は1億円あったと、大学2年時に劇団が両親を守る為、急遽青年座研究生となり、卒業社を継いだ。そんな危機的後はエジンバラでの海外公 状況の中、志村家のルーツ演等、演劇活動に明け暮れは江戸時代油屋だったこと。その後結婚し2人の子から閃き、オイルをベースを授かり育児に専念したがにした化粧品メーカーに業



真野 遥
12年 人間環境学部
人間環境学科卒
発酵料理家

自ら発酵料理家の地位を確立

都心にならながらも緑が「一番身近なものづくりで多い立地と、自由のびのある、料理に携わる仕事が多い」として校風に惹かれ、本したいと思ひ、料理の学に入りました。在学中道へ方向転換しました。現在は国際協力のゼミに所属 在はフリーランスの料理家し、学業の傍らサークル活として、レシピ考案や料理動や遊びに明け暮れ、充実 教室などの仕事をして

法政おわが母校を卒業して幾年。各地で活躍し、その後の人生模様を寄稿した。

リーダーからの
ESSAY
メッセージ

株式会社高知新聞社代表取締役社長

中平 雅彦さん

高知新聞社は、高知県を発行エリアとした高知県唯一の地方新聞社です。自由民権の系譜を受け継ぎ、1904（明治37）年に創刊。県内外に15の支社・総支局があります。2021年1月からは「断然 地だね主義」を掲げ、紙面改革を推進中です。中平雅彦社長は編集局出身。県庁の闇融資事件を追い、県警捜査費の裏金疑惑をキャンペーンするなど、調査報道に力を注いできました。



中平 雅彦(なかひら まさひこ)
1954年12月生まれ、高知県出身
法政大学文学部哲学科卒業
1980年高知新聞社入社、社会部長、
取締役編集局長、常務取締役地域読者局長を経て
2020年 株式会社高知新聞社代表取締役社長・
編集主幹就任
《主な公職》
高知市市民憲章推進協議会会長(2020年4月～)

失敗の中にこそ学ぶものがある

「40年ぶりかな…」新型コロナウイルス禍のため東京での会議はウェブ参加にしているが、どうしても面談する必要があり、昨年9月、法政大学にほど近い企業を訪れた。校舎は高層ビルに変わっても、桜並木が昔の記憶をよみがえらせてくれた。

カネはないが時間はある

学生運動は下火になっていたが教室には内ゲバの痕が残り、私服警察官らしき人物が立っていた。1975年、浪人生活を経て入学した私は、秋にはほとんど授業に出なくなった。定期試験は初日でロックアウトになり、もっぱらレポート提出だった。

体育の出席不足は医師の診断書で切り抜けたが、語学は甘くなかった。追試の日程を見落とし、まさかの留年。ただ、レポート試験ではかの単位は取得していた。残るは卒論ぐらい。カネはないが時間だけはあつた。卒業後も意識し始めた私は、市ヶ谷駅の掘向こうにある、編集者を養成する専門学校で夜間コースに通うことにした。

アルバイト先に便宜を図ってもらい、基礎コースに半年通った。基礎を終えると、いくつもある専門コースから文章作成を学ぶコースに進んだ。5人ほどの講師陣は昭和の大評論家・大宅壮一の門下生が中心で、今思えば実にぜいたくな顔ぶれだった。

その一人、ブロック新聞の元記者で評論家の大隈秀夫氏は、東京勤務時代に大宅壮一と出会い、評論活動に転じた人だ。授業が終わると毎回受講生を引き連れ、居酒屋でごちそうしてくれた。

文章コースが終了に近づいた頃、大隈氏に卒業後の進路を問われた。大隈氏は「出版なら東京、新聞なら地方紙がいい。高知新聞を受けてみては」と勧めてくれた。全国紙の

記者は組織の歯車で終わりがちだが、地方紙は読者に近く手応えを実感できる、というのが大隈氏の持論だった。

新聞社の入社試験はどこも難関だ。「学科試験では太刀打ちできない。論文試験にかけよう」。そう思い、文章力を磨くことにした。朝日新聞で天声人語を担当した深代惇郎の文章を毎日書き写した。コラムは書き出しと結びが命。書き写すことで起承転結、文章のリズムが身につく。画家や書家も模写をする。「学ぶ」は「まねる」ことから始まる。今でも若い記者には書き写しを勧める。

まさか新聞記者になれるとは思っていなかったが、新聞に興味はあった。高校に入学したころ、新聞はベトナム戦争の泥沼化を報じていた。若者の間で長髪、フォークソングが流行したころで、私は友達とフォーク集会を企画した。文化施設の会議室を借りて歌を楽しむ、ささやかな趣向だった。

ところが公共施設だったため行事予定が地元紙・高知新聞に載った。「高校生反戦フォーク集会」と銘打っていたので学校は大騒ぎ。「高校生の政治活動は駄目だ」と学校側。こちらは「戦争に反対することがなぜ悪い」。すったもんだの末、集会は実現した。

多感な時期に起きた出来事、世情が人間形成に影響すると言うが、無意識のうちに記者に必要な反骨精神が養われていたのかもしれない。

取材情報は読者のもの

現役記者時代、忘れられない出来事が二つある。

一つは高知県庁を揺るがせた闇融資事件。ある同和団体と密接な関係にある縫製業の協業組合に県が多額の公金を貸し付け、既に無利子で行われていた制度融資と

合わせて計26億円に上る公金が焦げ付いた。このうち12億円について県は、県議会にも諮らず、完全に秘密裏に融資を行っていたことから、本紙は「闇融資」と呼んだ。元副知事ら元県幹部3人が背任罪で起訴され、いずれも実刑判決が確定して服役した。

もう一つは社会部長時代に追及キャンペーンを張った高知県警の裏金疑惑。県警が架空の捜査協力者を仕立て、偽の領収書を作って捜査協力費を引き出し、そのカネを幹部が管理する金庫に裏金としてプールしていた疑惑だ。

ネタ元である警察組織との全面対決。覚悟はしていたが、端緒をつかんだ記者に対する県警の「脅しと懐柔」は尋常ではなかった。特オチの恐怖。彼の葛藤はいかばかりだったか。今思い出しても頭が下がる。

本紙が追及を始めた年の冬、北海道でも裏金疑惑が表面化。北海道新聞は徹底した追及で道警に裏金の存在を認めさせた。朝日新聞のリクルート事件報道と並び、調査報道の金字塔と言える。取材チームのリーダーは法政大出身の高田昌幸氏(現・東京都市大教授)だ。

新聞記者が権力に近いところで取材するのは、権力の監視役としての役割を読者に負託されているからだ。だから記者が得た情報は記者個人のものではなく、読者のものだ。不正を知って、それに目をつぶることは不正に加担することと同じだ。これを闇融資事件と裏金疑惑から学んだ。

高知は「課題先行県」

高知県は、生まれる子どもより亡くなる人が多い、いわゆる人口自然減に全国でいち早くなった県だ。県人口は69万人を割り、しかも高知市にその4割が集中する。高知県

は、日本がやがて直面する課題が他県に先駆けて表面化する「課題先行県」、日本社会の「負の縮図」と言えるかもしれない。

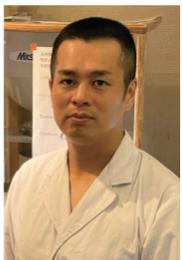
高知新聞は自由民権運動発祥の地で創刊し、120年近い歴史を刻んできた。小さな新聞社が報じていることは日本の片隅の出来事かもしれない。しかし、大災害が社会の弱点を一気にあぶり出すように、社会のひずみは弱い部分から表れる。やがて日本全体の問題になる事象は、地方から表れる。

だとしたら、それにいち早く気づき、分析し、改善の糸口を探る。課題解決の特効薬は示せないが、県民読者と共に考え、行動する。そんな新聞社でありたいと願っている。

最後に大学の後輩にエールを送るのが、このコーナーの約束事のようなので一言。高校時代も、予備校時代も、ここでは告白できない失敗を数々重ねてきた。大学生活は社会に出るまでの「執行猶予期間」。そんな甘い考えの私を包み込んでくれた母校には感謝しかありません。学生の皆さん、失敗の中にこそ学ぶものがあることを忘れないでください。



(南国土佐の夏を彩るよさこい祭りに高知新聞企業チームとして出場。犬の着ぐるみは本紙のマスコットキャラクター、にゅーすけ。その左で両手を広げているのが筆者。2008年、総務局長当時の雄姿です)



調布で人気・実力を兼ね備えた蕎麦割烹店「調布清水」を訪ねました。グルメサイト「食べログ」では、調布の蕎麦店66軒のうちで人気ランキング第4位となっています(2021年1月1日現在)。

蕎麦割烹「調布清水」
合気道で修練した求道心で創り出す割烹仕込みの味

清水 崇郎
'03年社会学部卒

自分の仕事で人が幸せになることを実感できる仕事をしたいと飲食業界に飛び込んだそうです。大学時代は合気道部にて礼節や求道の的な生き方・考え方を学び、それが今の仕事に役立って

蕎麦三昧コースは、人気の定番メニューで、その時は、でっぴりと太った鮎の塩焼きをメインでいただきましたが、今までに食べたことがないほどの美味しさでした。



清水さんは社会学部の叔母は、元TBSアナウンサーの藤田恒美(社会学部卒)です。本学女性初のキー局アナウンサーで、ラジオ番組の『小沢昭一の小沢昭一のこと』『全国どこでも電話相談室』のパーソナリティーで、癒し系アナとして有名でした。



田中 利幸
(株)厨房市場代表取締役社長
'82年経営学部卒

田中さんは大学卒業後、旧三和銀行に入行され、その後、2005年に(株)厨房市場を創業、2020年神戸牛&シチリアワイン「厨」を開店しました。その際は、でっぴりと太った鮎の塩焼きをメインでいただきましたが、今までに食べたことがないほどの美味しさでした。

周りには、共立女子大学や小学館、集英社があり、ランチは女性のお客様が多く集まる人気店です。おナーの田中利幸さんは、法政大学第二高等学校野球部、大学では第56代応援団長を務められました。OG会は、毎年多額の寄付という形で大学を応援してくださっています。

カレイドスコープ

時代のトピックメンターたち!



政井 貴子さん

2007年大学院卒
前日本銀行政策委員会
審議委員

丁寧(に)仕事と向き合うことが、 新たな道に通じる

専門性の向上に つながった実務経験

大学卒業後、国内外の金融機関で主に金融市場に関する業務に20年以上携わりました。この間、90年代後半の我が国の金融危機や、リーマンショックなど、様々な歴史に残る出来事がありました。金融市場の参加者の一人として、現場で立ち会ってきた、と言えます。

女性初の役員への 就任が人生のゲーム チェンジジャーに

所謂、ディールングルームと言われるところでの勤務でしたが、外資系の金融機関でも女性には珍しい世界でした。この間、苦労というより、工夫をしてきたと思います。とても基本的な事にも思いつかぬままに、例えは、クライアंटに聞かれた事を確実に調べてお答えする、と言ったことです。今でこそインターネットの検索サイトで調べればばばなんでもわかる時代ですが、当時は海外の本支店に問い合わせるなど、手間なことも多かった

ベクさまさまなことに積極的に取り組むようになりました。我が国におけるダイバーシティの現状は、残念ながらOECD諸国の中でみると遅れています。企業が、自分の決断を大いに支えてくれたと思います。

皆さんに何か助言するつもりは、ひとつひとつの事柄に丁寧に向きあって行かざるを得ないと思います。その姿勢は、長い職業人生を通じて、ご自身の知見という「資産」になっていくと思えます。私のキャリアを振り返ると、丁寧に向き合っていくことが結果として、新たな道に通じた事も、少なくありません。



福井 敦子さん

1994年文学部卒
GMOインターネット株式会社
取締役 グループコミュニケーション部部長

自分らしく自由で あるためにも責任ある行動を

自主・自立の精神を 教えてくれた 法政女子校に感謝

今回、「男性社会における苦勞話」というテーマで母校から執筆依頼をいただき、大変光栄ながら、自身が役員に就任してからよく頂くこの質問は、日本が世



鈴木 麻子さん

2002年経済学部卒
(現在)
京急不動産(株) 総務部長
京浜急行電鉄(株)から出向

自分の中にある羅針盤の 精度を常に高くする

マスコミ界から陸運へ

大学を卒業して早いもので、もうすぐ20年。大学在学中、マスコミに興味があった私は、マスコミ系のゼミに2年生から入り、自主マスコミ講座を受講しました。当時の経験や思い出は、今でも強く印象に残っています。また、今でも情報交換できるような仲間と出会えたきっかけでもあり、貴重な時間を過ごせたと感じています。

卒業後、私は希望していた広告業界に入り、広告制作や海外のマーケティングに携わりました。その後、自分もクライアント側で自社の魅力を発信したいという想いから、現在在籍する京浜急行電鉄(株)に転職しました。

その後、総務部やグループ会社の監査を行う部署を経験し、現在は、グループ会社の京急不動産(株)に出向。事業部門を経て、現在は総務部に所属し、総務・人事・経理と管理業務を

行っています。人材活用は、次のステップに進み始めています。「女性」というのは、個性のひとつであり、その枠に収まらない個々の持つ多様な性に対し目を向けることができれば、社会は以上に活性化するのではないのでしょうか。

- 〈春の叙勲受章者〉
瑞宝大綬章
宮崎 礼壹氏
元内閣法制局長官
(元法政大学法科大学院教授)
- 藍綬褒章
宮脇 典彦氏
法政大学教授(調停委員)
- 〈新社長〉
OFHTホールディングス
車 陸昭氏(くるま・りくあき)
95年法学部卒
21年2月就任
〇赤ちゃん本舗
味志 謙司氏(あじし・けんじ)
93年経営学部卒
東京都出身。21年3月就任
〇ラクオリア創業者
武内 博文氏(たけうち・ひるぶみ)
94年文学部卒。神奈川県出身。21年3月就任
〇東洋カフス
野口 信吾氏(のぐち・しんご)
85年法学部卒
東京都出身。21年4月就任
〇飯田グループホールディングス
兼井 雅史氏(かねい・まさし)
法学部出身
東京都出身。21年4月就任
〇オリエンタルランド
吉田 謙次氏(よしだ・けんじ)
84年経済学部卒
東京都出身。21年6月就任
- 〈市長〉
〇福島県郡山市長
品川 萬里氏(しながわ・まさ)
元法政大学教授
21年4月27日、3期目
〇埼玉県秩父市長
北堀 篤氏(きたほり・あつし)
法政一高卒
21年5月1日、1期目

でもある「スピリットベンチャー宣言」に「人種・国籍・性別・学歴・言葉・宗教、すべての差別を排除する。実力本位」と明言されているとおり、ジェンダー差別のない組織に長く身を置き、多くの仲間と共に役割を果たしてきた喜びは他の何にも代え難い経験です。私自身も性別で仕事を差別することはなく、この考え方は私が法政女子高

当社はグループの社是社訓でもある「スピリットベンチャー宣言」に「人種・国籍・性別・学歴・言葉・宗教、すべての差別を排除する。実力本位」と明言されているとおり、ジェンダー差別のない組織に長く身を置き、多くの仲間と共に役割を果たしてきた喜びは他の何にも代え難い経験です。私自身も性別で仕事を差別することはなく、この考え方は私が法政女子高

「女性である前に人間であれ」
今となつては当たり前の思想も、1945年の設立時にはかなり先端的な教育方針だったのでないでしょうか。私たちはヘアスタイルやピアスなどの自由な校風を楽しみ、制服もありませんが、好きなブランドのポロシャツやカーディガン、バッグを組み合わせてみんなど個性に合ったファッションを楽しんでいます。

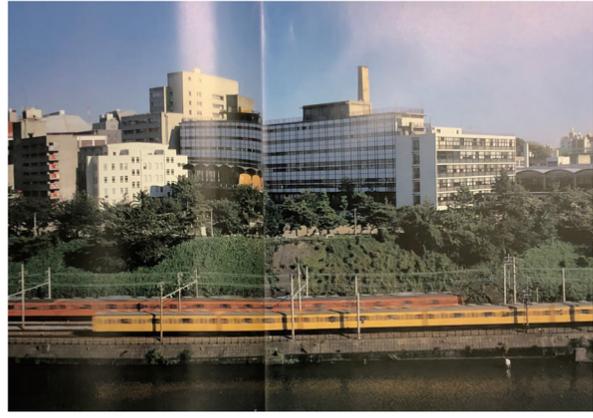
自分は何が好きで何が似合うのかを試行錯誤する楽しさは、自身の個性に気づきを与えてくれると共に「自由には責任が生じる」とを学ぶ機会となりました。

この経験は残念ながらたくさんあります。上席の者同士に取引先の方にお会いした際に名刺を渡されながら、今よりも多くの社会課題を解決できると感じています。

～祝 市ヶ谷キャンパス55・58年館建替工事竣工～

卒業アルバムで振り返る 市ヶ谷キャンパスの **今昔**

市ヶ谷キャンパス55・58年館建替工事は、2021年1月末に、竣工いたしました。基本構想の策定後、園を中心とした外構工事を経て、2014年3月に工事全体の着工を開始し、2016年8月に富士見ゲート、2019年3月に大内山校舎（構成・高見佳宏）が竣工。中央広場や大内山庭園を中心とした外構工事を経て、2019年3月に大内山校舎（構成・高見佳宏）が竣工いたしました。



1990年頃までの市ヶ谷キャンパス



富士見ゲート



中央広場



富士見校舎



大内山校舎、ボアサウンドタワー、富士見ゲート

池から興福寺につながる石段を上る。石段にはシカが転がっていた。奈良は古い歴史があり、外から入るのは難しいように見えますが、戸をたたけば開けます。私の師匠で、現在の老院・多川俊映師匠は偶然のようなきっかけで知り合いました。奥が深い

「戦国大名の筒井順慶は、官符衆徒（かんぷしゅと）と言う役割を持っていました。春日社興福寺の大和国影響しているが、このようにな中でも新しい動きや工夫も出てきている。集まれないならズームでの会議が定着してきた。オール法政新年を祝う会もオンラインで開催した。校友会ホームページを充実させ、入会手続も支払いの簡素化なども実現している。若手会員のオンラインコミュニケーション活動も活発化している。会員とのコミュニケーションは、本紙とホームページが主力である。これからも充実した情報発信に努めていきたい。大学では田中総長から廣瀬総長へバトンタッチされ、新機軸が出てきた。難しい時期こそ次への飛躍のための土台にしたいものである。」

（校友会副会長 坂戸俊夫）

大活躍「法政文士」紹介

乗代雄介氏 第34回三島由紀夫賞を受賞！
法大関係では初の快挙

新進気鋭の若手作家、乗代（のりしろ）雄介氏（34歳）が『旅する練習』（講談社）で、第34回三島由紀夫賞を受賞しました。おめでとございます。法大関係では初の受賞です。

乗代氏は、社会学部メディア社会学科に入学し、田中優子前総長のゼミに所属していたそうです。卒業後は学習塾の講師を務める傍ら、文芸同人誌にも参加して、文筆活動を続けてきました。

左記に、これまでの足跡を記します。まさに、破竹の勢いで三島賞まで登りつめたといえるでしょう。

2015年『十七八より』第58回群像新人文学賞受賞
2018年『本物の読書家』第40回野間文芸新人賞受賞
2019年『最高の任務』第162回芥川龍之介賞候補
2020年『旅する練習』第164回芥川龍之介賞候補
2021年『旅する練習』第34回三島由紀夫賞受賞

（注）三島由紀夫賞
作家・三島由紀夫の業績を記念し、新潮社の新潮文芸振興会が主催する文学賞。略称は「三島賞」。

豆知識 最近の「法政文士事情」

芥川賞作家の出身大学ランキングでは、早稲田大学、東京大学、慶応義塾大学に次いで、わが法政大学が第4位に位置しています（朝日新聞社『大学ランキング2022』より）。

芥川賞受賞作家では、吉田修一氏（経営学部卒）の活躍には目を見張るものがあります。実に八つのタイトルホルダーで、現在は、芥川賞の選考委員でもあります。

芥川賞以外では、飯嶋和一氏（文学部卒）が司馬遼太郎賞など、六つのタイトルを保持しています。

ノンフィクション作家で「高千穂あまてらす鉄道」代表取締役社長の高山文彦氏（本名、工藤雅康、文学部出身）は、第31回大宅壮一ノンフィクション賞、第22回講談社ノンフィクション賞を受賞しています。

また、NHKが『真夜中のパン屋さん』を映像化して一躍人気作家となった大沼紀子氏（文学部卒）は、第9回坊ちゃん文学賞大賞を受賞しています。

2019年には、大石大回（社会学部卒）が、第22回ポイルドエッグズ新人賞を受賞するなど、法政の名の下に多くの仲間たちが活躍しています。

恒例の公認会計士法友会主催による『公認会計士試験合格祝賀会』はコロナ禍で中止となりました。出身大学別ランキングは第9位となっています。

令和2年度 公認会計士 合格者42名 全国第9位

今年度の公認会計士試験では、本学（学部・大学院）から42人が合格しました。このうち24人が在学中の合格です。

（文・勝又秀雄）

第28回法政大学卒業生の集いについて

特色ある栃木大会実施を目指して

第28回法政大学全国卒業生の集い栃木大会について、大会は、日光きぬ川温泉の集い栃木大会に大変ご心配をおかけしております。栃木県は、新型コロナウイルス禍、全国的にの状況には大変ご心配をおかけしております。大会には、日光東照宮流木大会についても延期し、コロナウイルスを打ち落としてもらいたいと存じます。

また、記念ゴルフ大会は、那須岳の麓・井上誠一氏設計の名門ゴルフコース・那須ゴルフ倶楽部でプレー、温泉を満喫して下さい。（実行委員長 寺内正毅）

〈訃報〉

校友連合会会長

- 矢野裕氏（工・電気工学卒）18年4月11日没 享年82歳
- 原田知幸氏（営・営卒）20年9月没 享年70歳
- 加瀬武雄氏（工専・機械卒）20年11月22日没 享年89歳
- 尾藤三千雄氏（法政二高卒）21年1月31日没 享年76歳
- 鎌江健一氏（法・法卒）21年2月没 享年67歳
- 鶴木洋二氏（法・法卒）21年2月23日没 享年80歳
- 岩部金吾氏（元法政大学卒）享年不明
- 李高男氏（75年社・応用卒）島根県校友会没年・享年不明
- 菅井要之介氏（53年経・経卒）横浜法友会没年・享年不明
- 桑田茂氏（営・営卒）21年4月9日没 享年68歳
- 菅井伸氏（営・営卒）21年5月17日没 享年69歳
- 荒木博臣氏（61年経・経卒）福岡県校友会没年・享年不明
- 菅井要之介氏（53年経・経卒）横浜法友会没年・享年不明

（校友会副会長 坂戸俊夫）

校友探訪 興福寺貫首 森谷 英俊さん

そぼ降る雨に霞む水墨画のような山々がある。雨は猿沢の池にも降り注いでいる。この池は、興福寺創建時の瓦を造る粘土を採取した名残りの池である。今はここで放生会という法要が行われる。放生会とは、捕まえた魚や鳥などを野に放し命の平等、大切さを伝える行事である。興福寺は毎年4月に猿沢の池で生まれ育った魚を放すという。

池から興福寺につながる石段を上る。石段にはシカが転がっていた。奈良は古い歴史があり、外から入るのは難しいように見えますが、戸をたたけば開けます。私の師匠で、現在の老院・多川俊映師匠は偶然のようなきっかけで知り合いました。奥が深い

編集後記

コロナ禍の終息が見えない。校友会活動にも大きく影響しているが、このようにな中でも新しい動きや工夫も出てきている。集まれないならズームでの会議が定着してきた。オール法政新年を祝う会もオンラインで開催した。校友会ホームページを充実させ、入会手続も支払いの簡素化なども実現している。若手会員のオンラインコミュニケーション活動も活発化している。会員とのコミュニケーションは、本紙とホームページが主力である。これからも充実した情報発信に努めていきたい。大学では田中総長から廣瀬総長へバトンタッチされ、新機軸が出てきた。難しい時期こそ次への飛躍のための土台にしたいものである。

（校友会副会長 坂戸俊夫）